

燃料電池（FC）小型トラックの走行実証開始に関するお知らせ

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、地球温暖化抑制やエネルギー多様化等に対応した持続可能な社会の実現に向け、燃料電池（FC）小型トラックの導入検討にあたり、実用性・利便性を検証するための走行実証を、2021年に行うことをお知らせしておりましたが、このたび、開始時期等が決まりましたのでお知らせいたします。

1.開始時期

- ・2021年10月以降

2.実証場所等

- ・愛知県岡崎市にあるファミリーマート岡崎定温センターを起点とした1日3便の店舗配送コースを予定

3.FC小型トラックの仕様等

- ・トヨタ自動車といすゞ自動車が共同開発した燃料電池（FC）小型トラック（最大積載量3トン・2室式）を1台使用して走行実証を実施予定。

【主要諸元（目標値）】

- ・走行距離：約260km（JE05モード相当）
- ・FCスタック：最高出力120kw以上
- ・燃料タンク：水素貯蔵量約10kg

4.その他

- ・既存の水素ステーションを利用し、最も高いレベルの配送品質を求められる定温配送に燃料電池小型トラックを導入することで、実用性（燃費・航続距離・温度管理）と利便性（水素ステーションでの充填タイミング及び充填時間）に関する検証を行ってまいります。



●FC小型トラックのイメージ画像

ファミリーマートでは、環境に関する中長期目標「ファミマ eco ビジョン 2050」を策定し、持続可能な社会の実現に貢献するため、「温室効果ガス（CO2 排出量）の削減」、「プラスチック対策」、「食品ロスの削減」の3つのテーマについて数値目標を設定し、取り組みを進めております。

また、「ファミマ eco ビジョン 2050」に加え、物流面については、配送トラックから排出される CO2 を、2030 年に 2017 年度比 30%削減を目標に、クリーンディーゼル車両（環境配慮車両）の導入や、配送の効率化など、目標達成に向けた、さまざまな実行可能な施策を進めております。あわせて、EV（電動）トラックや FCV（燃料電池）トラックの導入、環境配慮型燃料の導入の実験も積極的に進めており、今後の本格導入と、さらなる CO2 削減のための取り組みを進めてまいります。

【ご参考】

- セブン-イレブン・ファミリーマート・ローソンとトヨタ・日野が燃料電池小型トラックの導入を目指した取り組みを開始

https://www.family.co.jp/company/news_releases/2020/20201208_03.htm

- 福島県とトヨタ自動車が取り組む水素を活用した新たな未来のまちづくりに賛同～ファミリーマート配送車の FCV 化や水素活用などを検討～

https://www.family.co.jp/company/news_releases/2021/20210604_02.html

- クリーンディーゼル車両の導入や、配送の効率化などにより配送トラックから排出される CO2 を 13.2%削減～2030 年までに 2017 年度比 30%削減を目標～

https://www.family.co.jp/company/news_releases/2021/20210707_01.html

ファミリーマートは、今年創立 40 周年を迎えます。これからも「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、地域社会に貢献する姿勢を貫くとともに、40 周年を記念したプロジェクト「40 のいいこと!？」として、便利さの先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

【ファミリーマート 40 周年プロジェクト】

URL : https://www.family.co.jp/campaign/spot/2021_40th.html

以上